

「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」の開催について

JRグループでは、平成28年7月1日（金）から9月30日（金）まで、青森県、北海道（渡島総合振興局・檜山振興局）、地元自治体（青森県内並びに北海道道南エリア11市町）、観光事業者等と連携し「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」（以下、青函DC）を開催いたします。青森全县で実施するDCは5年ぶり2回目となり、道南エリアとの共催は初めてとなります。

青森県と道南エリアは、古来、津軽海峡をはさみ交流・交易が活発に行われてきたエリアであり、相互に関連をもちながら、それぞれが豊かな文化や歴史を育み、今なお大切に受け継がれています。両地域には、おほかで温かい人々の心、豊かな食や温泉、自然・田園風景など様々な魅力があふれており、「津軽海峡でつながる物語」をキーワードに、その魅力を実感できる旅を提案します。

北海道新幹線開業でますます近くなり、ひとつの観光エリアとなった青森県・函館エリアの魅力を全国の皆様感じていただけるよう、地域一体となったおもてなしでお客さまをお迎えいたします。夏の青森県・函館エリアの旅を存分にお楽しみください。

1. **キャンペーン期間** 平成28年7月1日（金）～9月30日（金）
2. **開催地域** 青森県全域・北海道道南11市町（函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、上ノ国町、江差町）

3. キャッチフレーズ等

(1) **キャッチフレーズ** 「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森⇄函館」

青森県と北海道道南エリアの2つのエリアを周遊する旅のメリットを「1つの旅（ひと度）で2つの旅＝ひと旅ふた旅」と表現し、1つの旅で2つのエリアを巡ることにより、深みのある旅の思い出を作ってほしいという願いを込めたキャッチフレーズとしました。

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森 ⇄ 函館
AOMORI ⇄ HAKODATE

【キャンペーンロゴ】

(2) **キャラクター** 「いくべえ」

青森を旅していた妖精。旅をする間に青森をとっても気に入り、青い森に棲みつきました。最近では青森県のほか北海道道南エリアも旅しており、色んな帽子やかぶり物を付けて、2つのエリアの魅力を紹介・案内しています。



【いくべえ】

4. 宣伝展開

全国の皆様に青森県・函館エリアの魅力をお伝えするため、駅や列車へのポスター・パンフレット掲出をはじめとした様々な宣伝を展開します。

(1) **5連貼りポスター**

青森県・函館デスティネーションキャンペーン推進委員会が制作した5連貼りポスターを全国の主な駅に掲出いたします。



テーマ：食

テーマ：自然

テーマ：夜景・祭り

テーマ：歴史

テーマ：歴史的建造物

(2) JR6社制作ポスター掲出期間（予定）

JR6社でもポスターを制作し、以下のスケジュールで掲出いたします。

掲出期間(予定)	6月	7月	8月	9月
駅貼り用ポスター ・車内ポスター	立佞武多の館 (五所川原市)	函館の市電 (函館市)	青函トンネル記念館 (外ヶ浜町)	三内丸山遺跡 (青森市)
車内ポスター	弘前の洋館 (弘前市)	種差海岸 (八戸市)		五稜郭 (函館市)
	いにしえ街道 (江差町)	奥入瀬溪流 (十和田市)		恐山 (むつ市)
	青森のうまいもん		函館・道南のうまいもん	

(3) キャンペーンガイドブック

各エリアの観光情報やキャンペーン期間中に開催されるイベント情報などを掲載したキャンペーンガイドブックを全国のJR主要駅や旅行会社窓口等で配布いたします。



(4) メディアによる情報発信

- ・「遠くへ行きたい」 青函DC期間中に30秒CMを放送
(読売テレビ、日本テレビ、中京テレビ、広島テレビ、福岡放送にて毎週日曜日放送)
- ・「別冊 旅の手帖 青森・函館」発行 (交通新聞社発行・6月下旬発売予定)

5. イベント列車の運転

青函DCにあわせて、魅力的な臨時列車を運転します。リゾートしらかみに新型車両が導入されるほか、SL銀河が青森県内を力強く疾走します。魅力いっぱいの列車の旅をお楽しみください。

※イベント列車の時刻等は変更となる場合があります。ご乗車の際は、最新の時刻表でお確かめいただくか、駅係員までお尋ねください。

□通常、釜石線内でSL銀河として使用しているSLと客車を「SL銀河青函DC号」として青森・弘前間で運転します。SLでのご旅行、津軽平野を走るSLの雄姿にご期待ください。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	SL銀河青函DC号	青森	10:13	弘前	11:46	9/17.19	C58 + キハ141系 4両 (全車指定席)
		弘前	15:35	青森	17:00		

※SL銀河青函DC号の詳細情報、並びに旅行商品等は決まり次第別途お知らせします。

□世界自然遺産「白神山地」と雄大な日本海の眺望が楽しめる人気の「リゾートしらかみ」。新たに7月16日より櫛(ぶな)編成は新型ハイブリッド車両で運転します！

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	リゾートしらかみ1号	秋田	8:20	青森	13:30	7/1-12.15-31 8月・9月の毎日	HB-E300系4両 リゾートしらかみ 「青池」または「櫛」 (全車指定席) または キハ48系4両 リゾートしらかみ 「くまげら」または 「櫛」 (全車指定席)
	リゾートしらかみ4号	青森	13:51	秋田	18:56	7月・8月・9月の毎日	
	リゾートしらかみ2号	青森	8:10	秋田	13:27	7/1-12.15-31 8月・9月の毎日	
	リゾートしらかみ5号	秋田	14:17	青森	19:14	7月・8月・9月の毎日	
	リゾートしらかみ3号	秋田	10:40	弘前	15:46	7/1-5.8-12.15-31 8/1-31 9/1-11.16-30	
	リゾートしらかみ6号	弘前	16:08	秋田	20:50	7/1-5.8-31 8/1-31 9/1-11.16-30	
	五能線 クルージングトレイン	秋田	10:40	弘前	15:46	7/6.7 9/12-15	キハ48系2両 クルージングトレイン (全車指定席)
	弘前	16:08	秋田	20:50			

※新型リゾートしらかみ「櫛」編成についての詳細は別紙2をご参照ください。

※「五能線クルージングトレイン」は「リゾートしらかみ3・6号」と同じ区間・時刻で運転します。

□津軽半島、下北半島への観光に便利なハイブリッド車両「リゾートあすなろ号」を運転します。大きな窓からの青森の海・山の車窓をお楽しみください。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	リゾートあすなろ下北1号	八戸	10:49	大湊	12:45	7/2.3.9.10.16-18.23.24.30.31 8/6.7.11-16.21.27.28 9/3.4.10.11.17-19.24.25	HB-E300系2両 リゾートあすなろ (全車指定席)
	リゾートあすなろ下北2号	大湊	13:00	新青森	14:55		
	リゾートあすなろ八戸2号	新青森	15:28	八戸	17:09		
	リゾートあすなろ竜飛1号	新青森	10:27	三厩	11:49	7/2.3.9.10.16.18.23.24.30.31 8/6.7.11-16.27.28 9/3.4.24.25	
	リゾートあすなろ竜飛2号	三厩	15:57	新青森	17:50		

□八戸を起点に大湊線、八戸線への観光に便利な列車を運転します。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	はまなすベイライン1号	八戸	13:23	大湊	15:03	7/2.3.9.10.16-18.23.24.30.31 8/6.7.11-16.20.27.28 9/3.4.10.11.17-19.24.25	キハ40系2両 (全車自由席)
	はまなすベイライン2号	大湊	16:00	八戸	17:42		
普通	リゾートうみねこ	八戸	12:22	久慈	14:05	7/2.3.9.10.16-18.23.24.30.31 8/6.7.11-16.20.21.27.28 9/3.4.10.11.17-19.24.25	キハ48系3両 リゾートうみねこ (一部指定席)
		久慈	14:56	八戸	16:48		

□酒田、湯沢方面から乗り換えなしで青森を結びます。新青森駅では北海道新幹線に接続し、DCを展開する青森県・函館両エリアとも乗り換えもスムーズにお楽しみいただけます。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
特急	583系青函DC号	酒田	7:27	青森	11:54	7/2.3	583系6両 (全車指定席)
		青森	17:50	酒田	22:49		
		湯沢	8:12	青森	12:41	9/10.11	
		青森	17:50	湯沢	22:36		

□青森県西津軽地方には立佞武多で有名な五所川原、豊富な海の幸がそろそろ鱒ヶ沢、深浦と魅力がいっぱいです。青森から乗り換えなしでこのエリアを結びます。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	リゾートしらかみ 青函DC号	青森	8:10	深浦	10:44	7/13.14	キハ48系4両 リゾートしらかみ「くまげら」または「樺」(全車指定席)
		深浦	11:00	青森	13:30		

□五能線全線開通80周年を記念して、平成11年から平成17年まで実施した「蟹気楼ダイヤ」を復活します。十二湖、ウェスパ椿山観光ののちもう一度同じ列車に乗車する不思議な感覚をお楽しみください。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	リゾートしらかみ 蟹気楼号	秋田	8:20	弘前	15:46	7/13.14	HB-E300系4両 リゾートしらかみ「青池」(全車指定席)

※岩館、十二湖、ウェスパ椿山、深浦で下車観光後、再び「リゾートしらかみ蟹気楼号」にご乗車いただけます。

□秋田から青森・弘前の観光に便利な直通列車をクルージングトレインで運転します。田んぼアートへは弘前から弘南鉄道にお乗り換えいただくと便利です。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	クルージング青函DC号	秋田	9:33	青森	12:41	7/16-18	キハ48系2両 クルージングトレイン (全車指定席)
		青森	17:50	秋田	21:30		
	田んぼアート号	秋田	7:19	弘前	9:48	7/27 8/22 9/30	
		弘前	17:08	秋田	19:44		

□昨年火災で焼失した蕪嶋神社の復興を願い、青森から最寄駅の鮫まで「蕪嶋応援号」を運転します。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	蕪嶋応援号	青森	9:52	鮫	11:39	7/17	HB-E300系2両 リゾートあすなろ (全車指定席)
		鮫	14:02	青森	15:44		

□五能線全線開通 80 周年を記念して、昔懐かしいオレンジ色（朱の五号）の車両で臨時列車を運転します。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
普通	五能線全線開通 80 周年 記念号	弘前	9:39	深浦	12:14	7/30	キハ40・48系2両 (全車自由席)
		深浦	13:36	東能代	15:23		

□青森県の2大半島（下北半島・津軽半島）の両終着駅へ乗換なしで行ける列車を運転します。陸奥湾の雄大な眺めをお楽しみください。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	2大半島終着駅1号	八戸	8:44	大湊	10:21	8/20	HB-E300系2両 リゾートあすなろ (全車指定席)
	2大半島終着駅3号	大湊	13:00	三厩	16:24		
	2大半島終着駅2号	三厩	18:30	青森	19:50		
	2大半島終着駅5号	青森	8:13	三厩	9:44	8/21	
	2大半島終着駅4号	三厩	11:12	大湊	15:03		
	2大半島終着駅6号	大湊	16:00	八戸	17:42		

□津軽線を開放的な車内が特徴の「びゅうコースター風っこ」で運転します。早秋の津軽路の旅をお楽しみください。

種別	列車名	発駅・発時刻		着駅・着時刻		運転日	編成
快速	風っこ津軽号	青森	10:30	三厩	11:59	9/10.11	キハ48系2両 びゅうコースター風っこ (全車指定席)
		三厩	15:35	青森	17:17		

6. 二次交通の整備

観光スポットを効率的に回っていただける観光周遊バス「びゅうばす」「ツインクルバス」や、駅から少し離れたエリアの観光スポット巡りに手軽でおトクな観光タクシープラン「駅から観タクン」等を設定します。

(1) 観光周遊バス「びゅうばす」

青森県内の周遊に便利な観光周遊バス「びゅうばす」を6コースご用意しました(有料・事前予約制)。函館からの津軽海峡フェリー「大函丸」もセットになった、下北半島の観光が楽しめる周遊コース「函館からフェリーで！下北周遊号」や、いまや夏の青森観光の定番になった田んぼアートや人気急上昇中の「鶴の舞橋」をめぐる新規コース「旬の津軽を満喫！夏の津軽路号」など、らくらく周遊できる「びゅうばす」をぜひご利用ください！

※ご予約は、JR東日本のびゅうプラザにて承ります。

(2) 観光周遊バス「ツインクルバス」

函館を中心とした道南エリアの周遊に便利な観光周遊バス「ツインクルバス」を6コースご用意しました(有料・事前予約制)。函館市内の有名観光スポットを巡るコース「ツインクルバス函館満喫号」や、青函DC開催を記念し新たに設定した「大沼三味。食と体験めぐり号」「食と歴史めぐり号」「王道函館山夜景と城岱牧場裏夜景号」など、効率的に道南を楽しめる「ツインクルバス」をぜひご利用ください！

※ご予約は、JR北海道の主な駅・旅行センター(ツインクルプラザ)、JR東日本のびゅうプラザにて承ります。

(3) 駅から観タクン

駅から観光スポット巡りに便利な事前予約不要で定額制の観光タクシー「駅から観タクン」を青森県内7駅で設定しております。DCに合わせ、新コースも多数設定しております。各エリアを気軽に周遊いただけます。

【青森県内の設定駅】

新青森駅、青森駅、弘前駅、五所川原駅、八戸駅、大湊駅、下北駅

※タクシーご利用駅または、ご利用地域周辺の主な駅のみどりの窓口・びゅうプラザでタクシー券を購入ください。当日の購入でも利用可能です。



(4) 駅レンタカー

観光地をめぐる旅行には、列車から降りてすぐにご利用いただける駅レンタカーが便利です。北海道新幹線開業にあわせ、新たに3駅（新函館北斗駅・木古内駅・奥津軽いまべつ駅）でご利用いただけるようになりました。

また、以下の駅レンタカー営業所のうち新青森駅・弘前駅・七戸十和田駅・八戸駅からは、追加料金不要でモデルコースをカーナビに搭載した「らくちんナビ」がご利用できます。（禁煙車・Sクラス限定、台数限定）。

【青森県内の駅レンタカー営業所】

新青森駅、青森駅、弘前駅、七戸十和田駅、八戸駅、下北駅、奥津軽いまべつ駅

【道南エリアの駅レンタカー営業所】

新函館北斗駅、函館駅、木古内駅

7. キリンビバレッジ株式会社によるドリンク協賛

JRの主な駅の「みどりの窓口」または主な旅行会社でDC開催地域を目的地とするきっぷまたは旅行商品等を購入すると貰える引換券付きの専用乗車券袋を、「引換店」表示のあるNEW DAYS またはキヨスク売店等（乗車券袋に記載）にお持ちいただくと、引換券1枚につき「キリン 生茶（525ml ペットボトル）」または「キリン 午後の紅茶 おいしい無糖（500ml ペットボトル）」のいずれか1本と交換いたします。ただし、JR東日本では「びゅうプラザ」「提携販売センター」等で、旅行商品を購入された方に限ります。

※ 引換場所等は乗車券袋の記載をご確認ください。

※ 引換期間は平成28年7月1日（金）から9月30日（金）です。

※ 乗車券袋は数に限りがございます。なくなり次第終了とさせていただきます。

8. JR東日本の取組み

別紙1をご参照ください。

詳しくは、駅等で配布する「青森県・函館デスティネーションキャンペーンガイドブック」と青森県・函館DC公式ホームページ(<http://www.aomoriken-hakodate-dc.jp/>)をご覧ください。

※本件プレスリリースは、北海道運輸・航空記者クラブ、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会、新潟鉄道記者クラブ、東海交通研究会、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、四国交通記者クラブ、九州JR記者クラブ等にお届けしております。

【お問合せ先】

東日本旅客鉄道株式会社

広報部報道グループ TEL 03-5334-1300

JR東日本の取組み

1. びゅう商品の設定

青函DCを契機として行なわれた、地域の皆さまによる観光素材の掘り起こし・磨き上げと連携し、「自然」「歴史・文化」「食・体験などの『ならでは感』」「人情・おもてなしなどの『人』」といった青森・道南エリアの魅力を元に様々な体験メニューを提案します。また、北海道新幹線開業により更に身近になった「青森・函館」を「ひとつの観光エリア」として楽しみながら周遊できる観光ルートを整備し、商品化します。

(1) 「北東北」「函館」レギュラーパンフレット

JR+宿泊をベースに、「びゅうばす」などの二次交通やオプションプランを設定、観光情報も掲載。

(2) 「青森・函館」パンフレット

JR+宿泊はもちろん、現地で楽しめるオプション商品や最新の観光情報を多数掲載。

青森・函館を巡る周遊商品も設定。

(3) 「青森・函館 周遊の旅」パンフレット（首都圏発のみ）

青森・函館エリアを様々な交通で周遊する商品を設定。効率よく様々な観光地を訪れることができます。

(4) 「日帰りの旅 青森・函館」「日帰り函館」パンフレット（東北エリア発のみ）

北海道新幹線開業により、函館エリアを気軽に日帰りで楽しめる商品を設定。

青森エリアも新たな素材（五戸の馬肉料理など）を気軽に楽しめる商品を多数設定。

(5) 「リゾートしらかみの旅」パンフレット（首都圏発のみ）

「リゾートしらかみ」に乗って青森・秋田を周遊する人気のコースを設定。

(6) 「東北 祭り」パンフレット

青森ねぶた祭をはじめ、弘前ねぶたまつり・五所川原立佞武多・八戸三社大祭などの祭りを楽しむコースを多数設定。新たにDCに合わせ、「青森ねぶた祭」と「函館港まつり」両方を楽しむコースも設定。

(7) 「新幹線&飛行機で行く青森・函館・札幌」パンフレット（首都圏発のみ）

往復それぞれ新幹線・飛行機を利用し、青森と北海道を気軽に楽しむ商品を設定。

(8) 「駅たび 北東北・函館」パンフレット

現地オプション商品を集めたパンフレットを設定。「びゅうばす」や「駅から観タクン」はもちろん、地元ならではの様々な体験・食事などのメニューが目白押し。

(9) 「上野発の夜行列車で行く青森・函館の旅」パンフレット

往路は上野から583系夜行列車とフェリー、復路は新幹線と新旧の青函交通を楽しむ商品を設定。

(10) 「SL 銀河青函DC号で行く青森の旅」(仮称)パンフレット

【主なびゅう商品パンフレット（イメージ）】



2. 観光周遊バス「びゅうばす」の設定

青森県内の観光地を便利に、効率よく巡る周遊観光バス「びゅうばす」を6コース設定します。DCにあわせ、「旬の津軽を満喫！夏の津軽路号」を新たに設定したほか、他のコースも一部立ち寄り箇所を追加・変更するなどしています。

(1) 旬の津軽を満喫！夏の津軽路号（7/2～9/25の土休日と8/29～9/2・5～7※除く8/11・9/22）

太宰治のふるさと・金木や人気スポットの「田んぼアート」「鶴の舞橋」など津軽半島を巡るコース

- (2) 函館からフェリーで！下北周遊号（7/3～9/25 の日曜日と 7/18・8/29～9/7・19）
函館からの津軽海峡フェリー「大函丸」がセットになり、大間崎・恐山など下北半島の人気スポットを巡るコース
- (3) 津軽の歴史探訪号（7/2～9/25 の土休日と 7/1・4・5、8/29～31、9/1・2・5～7 ※除く 8/11・9/22）
青函トンネル記念館・階段国道・竜飛崎や、立佞武多の館など津軽半島の魅力を巡るコース
- (4) 下北半島の魅力発見！下北号（7/1～9/30 の金・土曜日と 7/3～5・17、8/29～31、9/1・4～7・18・22）
軍港・大湊の歴史や霊場・恐山など下北半島の魅力を巡るコース。仏ヶ浦・最北号とセットでどうぞ。
- (5) 本州最北端をご案内！仏ヶ浦・最北号（7/2～9/25 の土休日と 7/1・4・5、8/29～31、9/1・2・5～7・23 ※除く 8/11・9/22）
本州最北端・大間崎や仏ヶ浦遊覧船乗船など、本州最北端の魅力を存分に楽しめるコース
- (6) ～湖上から山上から～青森見どころ周遊号（7/2～9/25 の土休日と 7/1・4・5、8/29～31、9/1・2・5～7 ※除く 8/11・9/22）
八甲田・奥入瀬溪流・三内丸山遺跡など青森観光の王道を余すところ無く巡る見どころ満載のコース

3. 駅からハイキング

地域と連携し、駅から手軽にウォーキングしながら、それぞれの地域の魅力や観光スポットをお楽しみいただける「駅からハイキング」をDC期間中に21コース設定します。今年度から参加方法等リニューアルし、より参加しやすくなりました。詳しくは「駅からハイキング」専用ホームページ (www.jreast.co.jp/ekihai/) をご覧ください。

4. キャンペーン・イベント等

(1) 首都圏等での取り組み

- ① 地域と連携した首都圏での観光PRや産直市の開催
 - ・上野駅 あおもり産直市（5月20日～22日）、青森のもの（7月8日～10月6日）
 - ・大宮駅 青森県・函館産直市（6月8日～11日）
 - ・池袋駅 青森のもの（7月26日～10月17日）
 - ・秋葉原駅 青森のもの（7月26日～10月17日）

※「のもの」とは東日本の各地域の食を中心に地域の魅力を紹介する地産品ショップです。
- ② 東京ステーションシティ運営協議会 青函DC関連キャンペーン（6月24日～7月18日）
 - ・東京駅にて青森、函館の食材を使用したメニュー・商品の提供、観光PR装飾やイベント実施等
- ③ JR東日本ホテルズ「産地と技の饗宴 青函フェア 青森・道南」（7月1日～8月31日）
 - ・ホテルメトロポリタンエドモント（飯田橋）、ホテルメトロポリタン丸の内、ホテルメトロポリタン高崎、ホテルニューグランド（横浜）にて、青森と道南の高品質な農林水産物と豊かな観光資源を首都圏で情報発信することを目的としたレストランフェアを実施
- ④ エキュート「青森県・函館DC × エキュート『ハネる、アがる、青函の夏。』（7月11日～24日）
 - ・エキュート全8館の各ショップで、青函エリアの素材を使用した商品を開発・販売
 - ・青森県、函館エリアの期間限定ショップの出店や、特産品の臨時販売イベントの開催
- ⑤ ベックスコーヒーショップ「夏フェアドリンク」として、青森県の食材を活用した「青森県産ブラックベリーレモネード」を販売（7月1日～8月31日）

(2) 青森県内での取り組み

- ① DC特別企画駅弁の販売
津軽海峡マグロ女子会と連携し、青森と道南の特色を出した駅弁の発売（7月1日発売予定）
- ② 「青森県・函館デスティネーションキャンペーン ひと旅 ふた旅、めぐる旅。×Suica・Kitaca 電子マネーキャンペーン」（7月1日～9月30日）
青函DC期間中にエントリーして、青函エリアの対象店舗等でSuica・Kitaca等の交通系電子マネーを使って1回500円（税込）以上お支払いいただくと、抽選で青森県・函館エリアの特産品やSuicaのペンギン・Kitacaのエゾモモンガのオリジナルグッズをプレゼント。さらに青森県・函館両エリア両方の対象店舗でそれぞれお買い物された方には、抽選で更に豪華賞品が当たるチャンス。

5. 大人の休日倶楽部の展開

- (1) 「大人の休日倶楽部趣味の会フェスティバル in 青森・函館」(7月1～2日)
 - ・発表系講座 青森駅前「ワ・ラッセ」横の「西の広場」にて発表(雨天時は別会場)
 - ・座学系講座 函館エリアにて講座を開講
- (2) 青函DC期間中に「北海道新幹線開業記念 大人の休日パス」を発売(JR東日本・北海道管内等が8月29日～9月7日の連続する5日間乗り降り自由。詳しくは専用サイトをご覧ください。)

6. 宣伝展開・装飾

- (1) 大人の休日倶楽部ポスター・TVCM



青森・津軽の逆さ富士篇(イメージ)



函館・北海道の夏篇(イメージ)



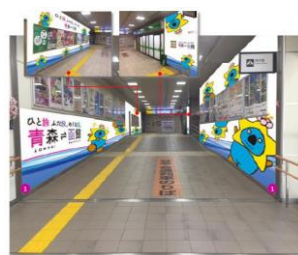
のぼり旗・フラッグ(イメージ)

- (2) JR東日本エリア内の駅の主な装飾
のぼり旗・ミニのぼり旗、フラッグ、駅ポスター等
※車内ポスターも順次展開

- (3) 首都圏主要駅での主な装飾
 - ・デジタルサイネージでの青函DC告知動画の放映
 - ・びゅうプラザ店舗ディスプレイの装飾

- (4) 青森県内の駅の主な装飾
 - ・県内主要駅において駅装飾を実施

- (5) 駅舎リニューアル
 - ・青函DCに向け、計画的に駅舎のリニューアルを実施



新青森駅装飾(イメージ)



陸奥湊駅(イメージ)



三厩駅(実施済)



本八戸駅(実施済)

- (6) その他(いずれも実施済)

- ・新青森駅構内に昨年の青森ねぶた祭りで実際に使用したねぶたの面を展示(義経と弁慶)
- ・新青森駅新幹線ホームの発車メロディーを「ねぶた囃子」に変更
- ・青森駅跨線橋壁面を、過去の青森駅の写真パネルで装飾

7. JR東日本グループのおもてなし

- (1) 青森県内のJR東日本およびグループ会社の社員等がおもてなしバッジを着用
- (2) 青森県に隣接する岩手県・秋田県内のJR東日本およびグループ会社の社員等が青函DC告知バッジを着用
- (3) 青森県内の各職場が連携し、お越しになったお客さまへのおもてなしメニューを実施(ちょっぴりプレゼント等)



おもてなしバッジ(イメージ)

新型リゾートしらかみ「樺」編成の概要について

- 乗ってみたいローカル線として全国的に人気を集める五能線に、6年ぶりに新型車両「新型リゾートしらかみ『樺』編成」を投入します。
- 「新型リゾートしらかみ『樺』編成」は、環境に優しいハイブリッドシステムを搭載した最新鋭車両です。樺の木立ちをイメージした外観が特徴で、内装には五能線沿線のシンボルである樺や杉などの木材をふんだんに使用しました。
- 3号車には新たに「^{おらほ}ORAHO」カウンターを設け、沿線の“うまいもの”、地酒など地産品を販売します。また、新たな車内イベントとして、青森県中泊町の無形民俗文化財「津軽伝統 ^{きんたまめじよ}金多豆蔵人形芝居」を実施します。
- 「新型リゾートしらかみ『樺』編成」は平成28年7月16日(土)から営業運転を開始します。

1. 車両の概要

(1) 外観コンセプト

樺（ブナ）の木立ちをグラデーションで表現し、ナチュラルなグリーンの濃淡で優しい木漏れ日を感じさせるデザインとしました。



デザインは「KEN OKUYAMA DESIGN」
(代表：奥山清行氏)が担当しました

(2) 内装コンセプト

雄大な白神山地や夕日の沈む日本海などの美しい風景を、車内から楽しめる開放感のある空間としました。内装材には、沿線のシンボルである樺や杉などの木材をふんだんに取り入れ、沿線の大自然を身近に感じていただくと同時に、温かみと安らぎを演出します。

- 天井や床などに「秋田産の杉」、^{おらほ}ORAHOカウンターなどに「青森ヒバ」、シンボルツリー（1・3・4号車へ設置）に「秋田産・青森産の樺（ブナ）」を使用しています。
- 展望室では秋田県・青森県産のスツールを使用します。

(3) 車両の特徴



1号車

2号車

3号車

4号車

① 1・4号車（シートデザイン）

シートは、東北の夏祭りをイメージしたデザインとしました。

1・4号車に設置の展望ラウンジは、青森・秋田県産の工芸品（ブナコや秋田木工）やシンボルツリーで非日常空間を演出します。新たな車内イベントのスペースとして多目的に使用します。

【1・4号車】



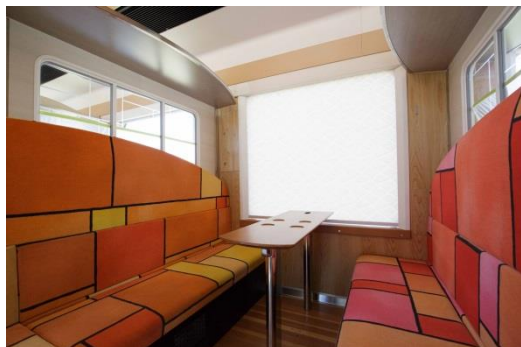
② 2号車（ボックス席）

従来よりさらに開放感や展望性を高め、明るいイメージにしました。各ボックスにはブナコ製の照明を備え付けます。

③ 3号車（「ORAHO」カウンター）

新たに「ORAHO」カウンターとシンボルツリーを設け、沿線の地産品をお楽しみいただける空間にしました。

【2号車（ボックス席）】



【3号車（「ORAHO」カウンター）】



※車両の画像はすべて製作中のものです。（5月13日現在）

2. 新たなサービスの概要

(1) 「ORAHO」カウンター

地酒やスイーツなど沿線の“うまいもの”を販売し、車内で景色をご覧いただきながらお召し上がりいただけます。「ORAHO」カウンターは、「五能線のもの」を扱う“のもの”コーナーとして、リゾートしらかみと首都圏“のもの”ショップをつなぐ相互情報発信を行います。

※“のもの”とは、東日本の各地の食を中心に地域の魅力を紹介する地産品ショップです。

〔主な販売商品〕

- ① 地酒 青森県西海岸唯一の酒蔵である尾崎酒造（鱒ヶ沢）の「吟醸 斜陽館」、弘前で14代続く造り酒屋・丸竹酒造（弘前）「大吟醸 白神ロマンの宴^{うたげ}」などを販売します。（サーバーによるワンショット販売）
- ② コーヒー 白神山地から湧き出た自然水で入れたコーヒーを提供します。
- ③ お土産 青森産「ふじ」をシロップに漬け、まるごとパイで包んだアップルパイ「気になるリンゴ」や、鱒ヶ沢でブサ可愛いと人気の「わさお」のグッズなどを販売します。

【大吟醸白神ロマンの宴】



【吟醸斜陽館】



【気になるリンゴ】



【わさおつみぐるみ】



※画像はすべてイメージです。

(2) ふれあい販売（仮称）

カウンター販売のほか、地元の方が乗り込んでの販売も行いますので、触れ合いながら五能線の魅力をお楽しみいただけます。（販売日・区間限定）

昨年7月から地元観光協会等と連携して試行してまいりましたが、お客さまにご好評をいただいているため本実施します。

〔販売区間及び販売商品・販売日〕…リゾートしらかみ1号・2号での販売

- ①十二湖駅⇄ウェスパ椿山駅 マグカツドック（土・日曜日）
- ②深浦駅⇄鱒ヶ沢駅 ごへい餅、串だんご（日曜日）
- ③能代駅⇄深浦駅 バスケットのお菓子セット、秋田杉の木工品（金・土・日曜日）

※その他に「北海道新幹線開業記念 大人の休日パス」利用期間の8/29～9/7は、上記に限らず販売する予定です。

【マグカツドック】



【ごへい餅】



【串だんご】



【バスケットのお菓子セット】



※画像はすべてイメージです。

(3) 車内イベント「津軽伝統 金多豆蔵人形芝居」

青森県中泊町の無形民俗文化財「津軽伝統 金多豆蔵人形芝居」は「金多」と「豆蔵」による掛け合い漫才の他、津軽民謡にあわせた人形の手踊りや、津軽の風俗や社会の世相を取り入れるなど、バラエティに富んだ内容の人形芝居です。

① 上演列車

リゾートしらかみ1号 1号車（五所川原駅～弘前駅間）

リゾートしらかみ4号 4号車（新青森駅～弘前駅間）

② 上演日

弊社ホームページやパンフレットなどで、後日お知らせいたします。

【金多豆蔵人形芝居】



※画像はイメージです。

3. 営業運転開始について

(1) 営業運転開始日

平成28年7月16日(土)

(2) 営業運転開始列車

リゾートしらかみ1号（秋田駅8:20発、青森駅13:30着）

リゾートしらかみ4号（青森駅13:51発、秋田駅18:56着）

※リゾートしらかみ1号の秋田駅発車時及びリゾートしらかみ4号の青森駅発車時では出発式を予定しています。詳細は決まり次第お知らせいたします。

【参考】現行と新型ゾートしらかみ「樺（ブナ）」の比較

	現行リゾートしらかみ 「樺（ブナ）」編成（キハ40系）				新型リゾートしらかみ 「樺（ブナ）」（HB-E300系）			
構成	4両編成				4両編成			
定員	143名（座席79名、半個室4名×16=64名）				142名（座席106名、半個室4名×9=36名）			
主な 設備	1号車	2号車	3号車	4号車	1号車	2号車	3号車	4号車
	座席	ボックス席	ボックス席	座席	座席	ボックス席	座席	座席
	展望室 バンス [°] -ス			展望室 バンス [°] -ス	展望室 バンス [°] -ス		おらほ ORAHO カウンター	展望室 バンス [°] -ス
							シンボルツリー	シンボルツリー
	車内案内表示器なし				車内案内表示器あり			
	液晶表示器なし				液晶表示器あり			
	蛍光灯				LED照明			
動力	液体式ディーゼルエンジン				ディーゼルハイブリッドシステム ※			

※ハイブリッドシステムとは、車両の状況に応じて、ディーゼルエンジンとリチウムイオン蓄電池を組み合わせ、駆動力に電気モーターを使用します。発車時は蓄電池充電電力を使用し、加速時はディーゼルエンジンが動作して発電機を動かし、蓄電池電力と合わせてモーターを回転させます。減速時はモーターを発電機として利用し、ブレーキエネルギーを電気に変換して蓄電池に充電するシステムです。